

枕士音

東 京 圖 書 館

和書門

音
目
樂
類

函

四
八
架

五
號

二
八
冊

物慈童

第
山の奥にも道
ありきま深挿是ハ
あり時ハ

僕の皇帝乃片下也。極も此
程南陽乃鄴縣れ山より全葉
の水流き出さる水よとて

新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし

是の山は鄴縣の山に似てゐる
谷川を築く水もくもく流る

山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし
山路は新地いしの直上首を雲のひさし

松六郎

成田家女流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名

成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名

成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名
成田家の名流の成田家の名

御者くあはるるに。花と新

かよひのあはるるに。花と新

も新君程あはるるに。花と新

花と新君程あはるるに。花と新

まろのあはるるに。花と新

く。菊乃紫子級妙文試寫

下
流
あはるるに。花と新

のあはるるに。花と新

のあはるるに。花と新

のあはるるに。花と新

上
まろのあはるるに。花と新

のあはるるに。花と新

予ちりとおのちくきより由松
れ。妙文と解し。あまのく
舞楽と奏する。かたあまの
慰めん。と西のむら
まの舞きく。豊翁と住
居る。王母とあまのく。他女

此教の樂器とて。くあまの
さく。て。雲と舞く。忽あまの
やの。あまの。あまの。奏を
の。奏を。入。あまの。舞とらあ
る。あまの。あまの。あまの。あ
本。舞。樂。の。水。あ。れ。く。

其の文を稽く入の百歳をす
てよるなりや終るまの如
きりあ〜な〜
とを〜とぶあ〜と
ア出〜薬の多と〜
入勅使よ是ととくち〜
洗は薬

近三 縣乃山路の菊は氷くををむ
るかののほのほ〜
む〜か〜
りひとのあ〜

右之本者觀世太夫章句真本令版行畢

正徳六丙申歲 弥生

示来荏苒数十年ノ星霜ヲ經ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ
シモ印刷ニ附セサレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ミ今般
宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

定價六錢

明治十七年七月五日 出版御届
同 年七月 刻成癸允

京都府平民

出版人

檜

常之介

上京區第三十組三条通寺町西入
丁子屋町 十一番戶

